

四国霊場第20番札所 霊鷲山 宝珠院 鶴林寺 参拝地図

参考コースタイム 90分 (道の駅起点、鶴林寺まで片道) 約3.6km

修行中の弘法大師が、地藏を二羽の鶴が獲っているのを見て、地藏菩薩を刻み、その中に鶴が獲っていた地藏を納め本尊としたとされる古刹で、寺名もそれに由来しています。「一に焼山、二にお鶴、三に太龍」と呼ばれる遍路の難所の一つで、距離は短いものの標高差は490mにも及びます。鶴林寺へ至り次の札所太龍寺へ降りる道には古くからの丁石が残り、最も古いものは貞治2年(1363年)と記されています。こうした史跡がもとで平成22年10月、遍路道では初の国指定文化財の認定を受けました。一度は歩いてみたい、美しい道です。



- 注意!**
1. 整備がされた歩きやすい道ですが、大半が山の中に入る道です。スニーカー程度の履物をご用意ください。
 2. 各キャリアの携帯電話も通話圏内ですが、ところどころ電波の届きにくいところがございます。圏外だと電池の消耗が激しいため、電源を切って入山いただき、下山後または必要な時だけ電源を入れてご使用ください。
 3. 参考コースタイムはあくまで参考です。道中にはベンチや杖のお接待もありませんので、自分のペースでお登りください。
 4. 夕方にまたがる入山は危険です。体力に自信のない方は特に午後よりの入山はお控えください。